

園聖句 私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

今月の聖句：神は愛です。 ヨハネー4：16

4月14日に熊本におこった地震は、そこで暮らす方々の日常を奪いました。テレビから伝えられる情報から避難所で不自由な生活をされながら互いに助け合い、寄り添いながら過ごされている事が伝わってきます。そこで暮らす子ども達が、自分達で出来る事を考えて動いている事を知りました。『熊本が大変』だけを子どもに伝えるだけでなく、熊本に地震が起こり今そこで暮らす方がどんな生活をされているかを伝え、京都から出来る事を考えていけたらと思います。ご協力よろしくお祈りします。

5月の行事予定

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 2日(月)～幼児個人面談開始～6/30 | 21日(土) すみれ親子遠足 |
| 2日(月)～すみれ参観開始～5/27 | 24日(火) ことりグループ保育参観(さくら対象) |
| 2日(月)～すみれ個人面談開始～6/17 | 26日(木) さかなグループ保育参観(さくら対象) |
| 12日(木) お弁当の日 | 26日(木) 内科検診 |
| 13日(金) ゆりお泊り保育説明会 7:00 | 30日(月) 大人に感謝する日の礼拝 |
| 14日(土) ※離乳食をつくってみる会 | 31日(火) ゆり八瀬野外保育センター遠足 |
| 14日(土) ※遊びにおいでよ(小1・2) | ◇園庭開放 12、26(9:30～11:00) |
| 18日(水) お誕生会 | ◇あそぼう会 11、18(10:00～11:00) |
| 19日(木) どうぶつグループ保育参観(さくら対象) | ◇おいでよ赤ちゃん 24(9:30～10:30) |
| | (◇印は地域開放としての取り組みです) |

<大人に感謝する日の礼拝>

5月の第二日曜日は「母の日」ですが、園では30日に「大人に感謝する日」として身の回りの自分の成長に関わって下さる全ての方々に感謝の礼拝を守ります。まずはお母さんにありがとうの気持ちを込めながらも、いろいろな方々への感謝の気持ちにつながってほしいと思います。『大人に感謝する』と伝えながらも、本当は私たちが、“子どもに生かされている”と感じている事を毎年この礼拝で再確認し、保育士でいられる喜びを感じています。『大人に感謝する日の礼拝は』そんな思いの中で私達大人は守っています。

母の日の由来は、アメリカのアンナ・ジャービスさんが最愛の母を亡くしたあと、母への感謝をあらわす日を創設しようと運動を開始したのがはじまりといわれています。カーネーションはアンナさんのお母さんが大好きな花だったそうです。子どもたちは、お母さん・お父さんそしてまわりの大人から限りない愛情で包まれ育てられることで自らの存在の意義を確信するといわれています。子どもたちとともにいる幸せをいっぱい感じたいものです。

<健康診断>

健康診断は、内科検診(5月、11月)、歯科検診(6月、11月)、尿検査(6月幼児)を行います。検診結果については、こひつじノート(出席ノート)の健康診断欄に記入する他に、更に検査等の必要な場合には個別にもお知らせします。お子さんの健康状態をしっかり把握して、気になることがある場合には早めにお医者さんに相談していただければと思います。

当園の嘱託医は青木小児科医院青木修一郎先生(桂上豆田町32 381-3785)です。

<ギョウ虫検査について>

1958年から、小学3年生以下の児童にギョウ虫などの寄生虫卵検査が義務付けられていましたが、衛生環境の改善に伴い、文部科学省の学校保健安全法施行規則が4月末に改正され、学校での健康診断の項目から「ギョウ虫検査」（寄生虫卵検査）が2015年度限りで廃止されることとなりました。園でも今年度よりギョウ虫検査は行わないことになりました。

<はみがき教室>

健康指導の一つとして、幼児さんは「はみがき教室」が6月3日にあります。

この日は、歯科衛生士の先生にお越しいただき、虫歯予防についてお話しいただき、歯の磨き方を教えていただきます。さくらさんは、この頃から園でも食後に歯みがきをするようになります。

どうかご家庭でもお子さんの歯みがきにとりくんであげてください。磨いた後♪しあげはお母さん〜♪で、確かめをご家庭でしていただくだけでも虫歯予防は随分違ってきます。寝る前や夜中の飲み物もジュースなどは虫歯の原因になります。のどがかわいた時はお茶を飲むように習慣づけましょう。

<親子遠足・親子であそぼう>

今年は4月16日、23日と幼児組がグループで親子遠足がありました。幼児組の行き先は八瀬野外保育センターです。幼児になると園外保育でよく行く幼児のための野外保育施設です。ゆりさんになると、この八瀬野外保育センターでおとまり保育をします。それまでに子ども達は何度か遠足に行き遠いけれど身近に感じる場所になります。そして、卒園してからも行きたい場所になるのです。

すみれ組さんは5月21日に行き先を榎原史跡公園・京都保育福祉専門学院で計画しています。

『親子遠足』の経験は、子どもたちにとって、お家の方といっしょに楽しんだことの思いが、園でのこれからの生活の大きなエネルギーになると考えます。また、お家の方も園外保育に共に参加していただくことで保育の様子を垣間見ていただき、お子さんと思いを共にしていただけたらと思いついて取り組んでいます。

たんぼぼさん、ちゅうりっぷさんは、まだ小さい乳児期ですので無理はせず園で楽しく過ごすことを基本とした計画で「親子であそぼう」と称して取り組ませていただきます。たんぼぼさんは6月4日に、ちゅうりっぷさんは1月28日に計画しています。この日はお弁当のご用意をお願いします。

<『朝ごはん』はどうして食べるのでしょうか？>

どうして朝ごはんが大切なのでしょう？それは体温と脳に関係があるのです。寝ている間に体温は下がります。起床してから徐々に体温が上がり、脳や身体を目覚めさせ動けるリズムが身体に刻み込まれています。朝ごはんは体温を上昇させるのに大切な役割を担っています。しっかり食べることで体温だけではなく、脳にエネルギーを供給させます。朝ごはんを食べると食べた直後から体温が上昇し、日中もその体温をキープします。しかし、一方、朝ごはんを食べないと一旦上がった体温が下がってしまい、脳が活性化されません。また、朝ごはんを食べない習慣がついてしまうと普段の体温も低くなりがちで、朝起きることが辛くなります。また主食だけの朝ごはんは脳が働きにくく、食べていないのとはほぼ同じだそうです。身体を動かすエネルギーとして欠かせない『炭水化物』+『たんぱく質 or 脂質』+『ビタミン or ミネラル』という形で3種類の栄養を摂ることを目指し、バランスの良い食べる習慣をつける事が大切です。朝ごはんを食べる環境も大切です。忙しい朝の時間でしょうが、食卓で食べる習慣を大事にしましょう。規則正しい生活リズムを身につける事は、子どもの生活を豊かにする為にも大切な習慣なのです。

